

**製品名: CD22 (6S17) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe08284**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	95kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD22
別名	CD22; BLCAM ; Leu14; Lyb8; SIGLEC2 ; B cell receptor CD22 precursor; MGC130020;
遺伝子 ID	933.0
SwissProt ID	P20273
免疫原	ヒト CD22 の合成ペプチド

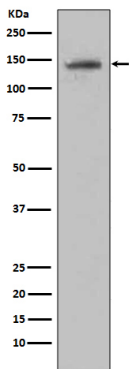
**背景**

B細胞シグナル伝達の調節因子として機能します。CD22は、B細胞リンパ球分化の異なる段階で細胞質タンパク質と膜タンパク質の両方として発現します。B細胞発生の初期に発現する細胞質型のCD22は、急性リンパ性白血病の有用なマーカーです。膜型のCD22は、形質細胞に分化する前の成熟B細胞で発現します。選択的スプライシングにより、CD22 $\alpha$ とCD22 $\beta$ の2つの異なるアイソフォームが生成されます。B細胞間相互作用を媒介します。リンパ組織におけるB細胞の局在に関与している可能性があります。シアリル化糖タンパク質に結合します。そのうちの1つがCD45です。 $\alpha$ -2,6結合シアリン酸に優先的に結合します。シアリン酸認識部位は、同じ細胞表面上のシアリン酸とのシス相互作用によってマスクされることがあります。免疫応答においてリガンド誘導性チロシンリン酸化は、B細胞抗原受容体シグナル伝達の調節に関与していると考えられる。Srcファミリーチロシンキナーゼとの相互作用を介して正の調節に関与するほか、SH2ドメインを介して細胞質ホスファターゼをリクルートし、シグナル伝達分子の脱リン酸化を介してシグナル伝達を阻害することで、阻害受容体としても作用する可能性がある。

## 研究分野

免疫学

## 画像データ



CD22抗体を使用したRaji細胞溶解物のウエスタンブロット分析。